

平成21年4月1日

多様な進路からマイルートを見つける

大阪版「職業アセスメント・プログラム」モデル事業計画

大阪職業教育ネットワーク

大阪府府民文化部私学・大学課

大阪府教育委員会事務局教育振興室高等学校課

(社)大阪府専修学校各種学校連合会 ほか

この事業を立ち上げた経過

- 昨年8月、中高生が、橋下知事、代田校長（杉並区立和田中学校）、専修学校の先生たちなどからアドバイスをもらって、自分の「好きなこと」「興味があること」から将来の仕事を考える「13歳のハローワークマップ・ワークショップ」を開催し、参加した生徒の90%が「将来の役に立つ」と回答するなど、大きな成果を挙げました。
- このワークショップを一過性のものとしないうために、平成21年度から、大阪府、大阪府教育委員会、(社)大阪府専修学校各種学校連合会(略称:大専各)は、「おおさか職業教育ナンバー1戦略」に基づき、モデル高校10校の1年生を対象に、大阪版「職業アセスメント・プログラム」モデル事業を立ち上げることとしました。

(主な経過)

- H20年6月 知事、教育長、大専各会長が、職業教育日本一を目指すことを合意
- H20年8月 「13歳のハローワークマップ・ワークショップ」を開催(主催:大専各)
- H20年10月 府、府教育委員会、大専各が「おおさか職業教育ナンバー1戦略～好きなことで一生食べていける力を育てる～(素案)」を取りまとめ
- H20年12月 「将来ビジョン・大阪(案)」に「職業教育ナンバー1」が位置づけ



[参考]

- H18年12月 教育基本法改正⇒教育の目標の一つに「職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んじる態度を養うこと」が規定。
- H20年7月 「教育振興基本計画」が閣議決定⇒「特に重点的に取り組むべき事項」に、「キャリア教育・職業教育の振興」が記載。
- H20年12月 文部科学大臣が中央教育審議会に「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方」を諮問(現在、審議中)。

大阪版「職業アセスメント・プログラム」の目的

- このプログラムは、高校生が、自分の興味や資質、適性についての理解を深め、それが「英数国理社だけではない多様な進路」につながっていることを発見し、その中から自分だけの進路(マイルート)を見つけることを応援することを目的にしています。
- このため、このプログラムでは、高校生に次の機会を提供します。
 - (1) 自分が「やりたいこと」(興味、資質、適性、価値観など)を理解する機会
 - (2) 自分が「やりたいこと」が「多様な進路」につながっていることを発見する機会
 - (3) 自分が「やりたいこと」を職業教育として体験する機会

現在の高校が受けている制約

- 教育課程で「職業教育」の位置づけがあいまい。
 - * 現在、国の中央教育審議会において、「今後のキャリア教育・職業教育の在り方」を審議中。
- 教職以外の職業経験を有する教員が少ない。
 - * 特別非常勤講師、キャリアカウンセラーが少ない。
- キャリア教育や職業体験は学校間で濃淡がある。
 - * 専修学校と学修上の連携をしている高校が少ない。

高校生が感じている無力感・モラトリアム

- ・「自分の将来に夢や希望が持てない」
 - * 「夢を持つ高校生」の割合: 12年度76.3%⇒19年度65%
- ・「不況だから、いくら頑張っても就職できない」
 - * 「派遣切り」「内定取消」などが影響を与えている。
- ・「将来のことを考えるのはもっと先の話」
- ・「主体的に自分の進路を決められない」

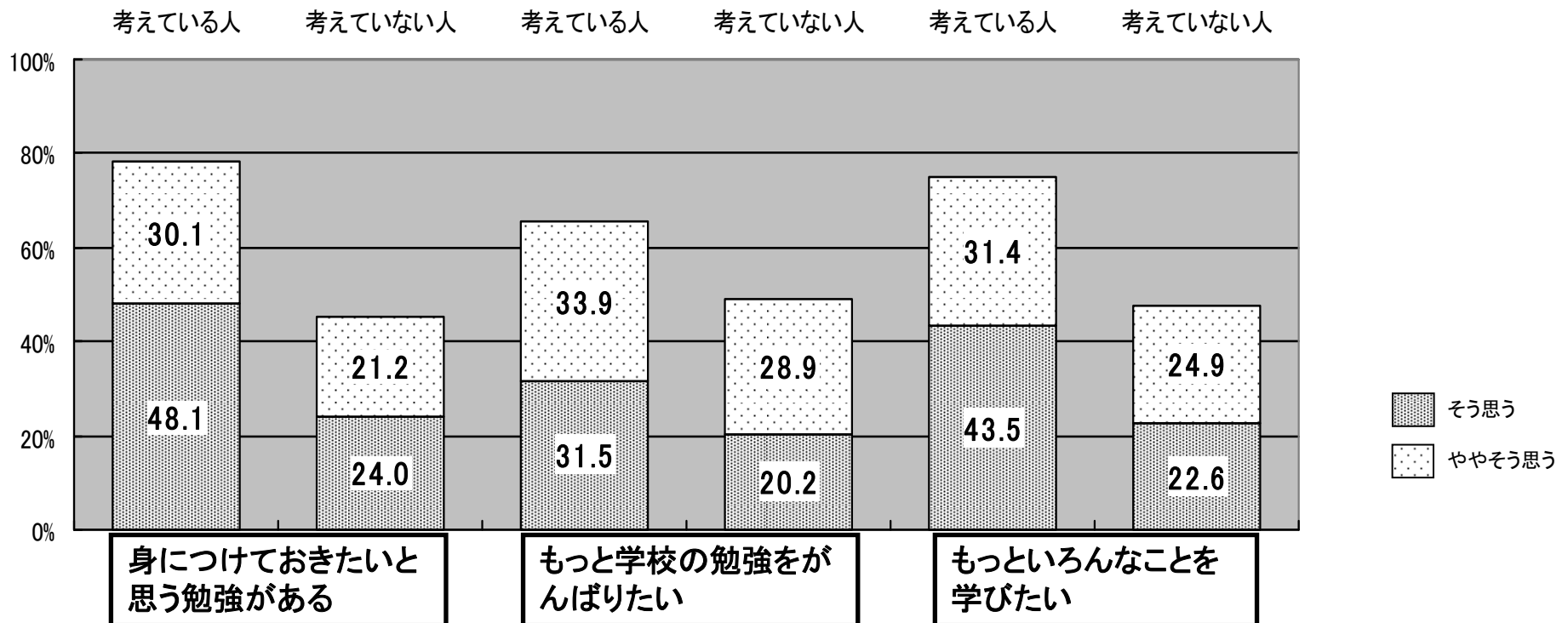
高校は、英数国理社だけを勉強する場ではない。「デザインがしたい」「自動車をつくりたい」「スポーツがしたい」「料理がしたい」「人の役に立ちたい」、いろいろな「やりたいこと」の中から自分だけの進路を見つける場でもある。

大阪版「職業アセスメント・プログラム」は、生徒に進路を指示したり、就職先や勧めたりするものではありません。生徒が、自分の「やりたいこと」から自分だけの進路(マイルート)を見つけるための機会や情報、選択肢を提供するものです。このプロセスを通じて、生徒が社会との関わりを考え、目的意識を持ち、勉学等の意欲を高めることも期待されます。

「将来の仕事を考えている」高校生は勉強等の意欲も高い

職業教育は、進学、就職いずれの進路選択にも効果が高い。

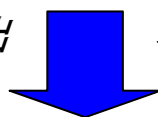
「将来つきたい仕事」について…



大阪版「職業アセスメント・プログラム」では、今までの高校にはあまり登場しなかった新しいプレイヤーが新しい手段を高校生に提供し、「多様な進路」の中から自分だけの進路(マイルート)を見つけることを応援します。

	提供する機会	新しい手段	新しいプレイヤー
フェーズ1	自分が「やりたいこと」を理解する機会	<input type="checkbox"/> 興味、資質、適性(職業適性や学問適性)、パーソナリティ等に関する自己診断テスト受検 <input type="checkbox"/> 自己理解のための教材提供や自己診断テスト結果の活用方法の提供	◆ キャリア教育・職業教育で実績のある企業
フェーズ2	自分の「やりたいこと」が「多様な進路」につながっていることを発見する機会	<input type="checkbox"/> 「多様な進路」を発見するワークショップ ・ 知事からのメッセージ ・ 「13歳のハローワークマップ」づくり ・ 親近感を感じる職業人との交流 など	◆ 大専各 ◆ 13歳のハローワーク公式サイト ◆ 専修学校(社会人教員) ◆ 親近感を感じる職業人
フェーズ3	自分の「やりたいこと」を職業教育として体験する機会	<input type="checkbox"/> 専修学校の職業教育を生徒が体験 ・ 高校生が専修学校で職業体験学習 ・ 専修学校が高校でキャリアガイダンス * 高校生に専修学校の機能を活用した多様な職業体験機会を提供	◆ 専修学校(社会人教員) ◆ 専修学校(キャリアカウンセラー)

新たな価値を創出



各高校が従来から実践しているキャリア教育、職業体験

生徒が、「多様な進路」の中から自分だけの進路(マイルート)を見つけることをサポート

※ 大阪版「職業アセスメント・プログラム」は、各高校が従来から実践しているキャリア教育、職業体験と相反するものではありません。むしろ、生徒の機会を広げることで、各高校のキャリア教育や職業体験の内容をより充実してもらうことを目指しています。

大阪版「職業アセスメント・プログラム」の対象と目標

◇事業の対象

モデル高校10校(府立高校、私立高校)の高校1年生

高校1年生を対象とした理由:

①新しい環境、②文理選択の時期、③進路選択の幅を広げる時期、④社会との関わりを主体的に意識する時期

モデル高校に求められるもの

- 府内の高校で、キャリア教育や職業教育に熱心に取り組んでいる学校
- キャリアカウンセラーを活用するなど、進路指導に力を入れている学校
- モデル事業終了後も、継続が期待できる学校

モデル高校の決定手続き

- ・3月上旬 府内の高校に希望調査
- ・3月30日 応募のあった高校の中から、「大阪職業教育ネットワーク」(府、府教育委員会、大専各、専門家等で構成)がモデル高校を決定し、各校あて通知。

◇事業の目標

このプログラムを通じて、生徒が自己理解、自己肯定感、主体性、社会とのつながりへの意識、勉学等の意欲、などを高めることを目標にします。

具体的な目標の設定や効果検証については、実績のある企業の協力を得て、専門家の指導の下、生徒にアンケート調査するなど効果的に行います。

大阪版「職業アセスメント・プログラム」の内容

【フェーズ1】Will

- ◎自分の「やりたいこと」を理解
- ・自己診断テスト(興味、資質、適性、等)
- ・フォローアップ

【フェーズ2】Hope

- ◎「やりたいこと」を進路につなげる
- ・ワークショップ
(13歳のハローワークマップづくり、職業人との交流、など)

【フェーズ3】Skill

- ◎職業教育を体験する
- ・高校生が専修学校の職業教育を体験

時期	4月～7月頃	8月1日(夏休み期間中)	9月～12月頃
運営	・キャリア教育等で実績のある企業	・大専各 ・13歳のハローワーク公式サイト 等	・専修学校
ねらい	・自己理解(興味、資質、適性等) ・自己受容 自己肯定感	・「多様な進路」の情報収集 ・社会とのつながり	・主体性 将来への展望
生徒の目線	「自分が好きなことって何だろう?」「自分に合う仕事や学問はあるのかな?」	「好きなことを仕事にしている人ってこんなにいるんだ」「どうすればいいか道筋を聞いた」「やりたい事が少し見えた」「自分にも出来るかもしれない」	「自分の進路に必要な技術や技能、資格は、こうやって身に付けるんだ」「目的が出来てやる気が出てきた」「もっといろいろと勉強したい」

生徒に必要な機会を追加的に選択

次のステップ

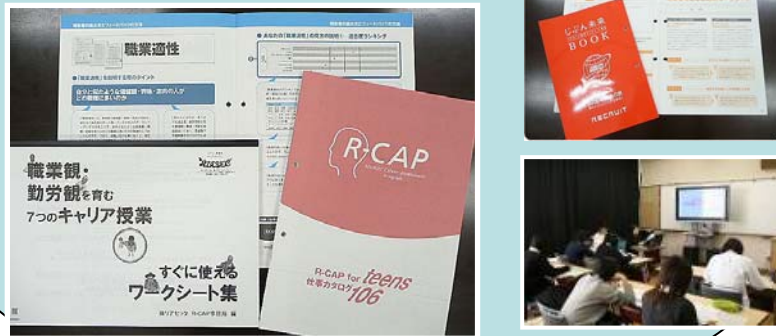
モデル高校が1年生を対象に実践しているキャリア教育・職業教育

- ・インターンシップ
- ・勤労観、職業観
- ・キャリアデザイン 等

※ フェーズ1、3の時期は、モデル高校のキャリア教育等の取組状況に応じて変更あり。

各フェーズの内容については、モデル高校決定後、各校のキャリア教育・職業教育の取組状況に合わせて、実施時期や提供するメニューの詳細を固めます。

フェーズ1:自分の「やりたいこと」を理解する



フェーズ2:「やりたいこと」を進路につなげる

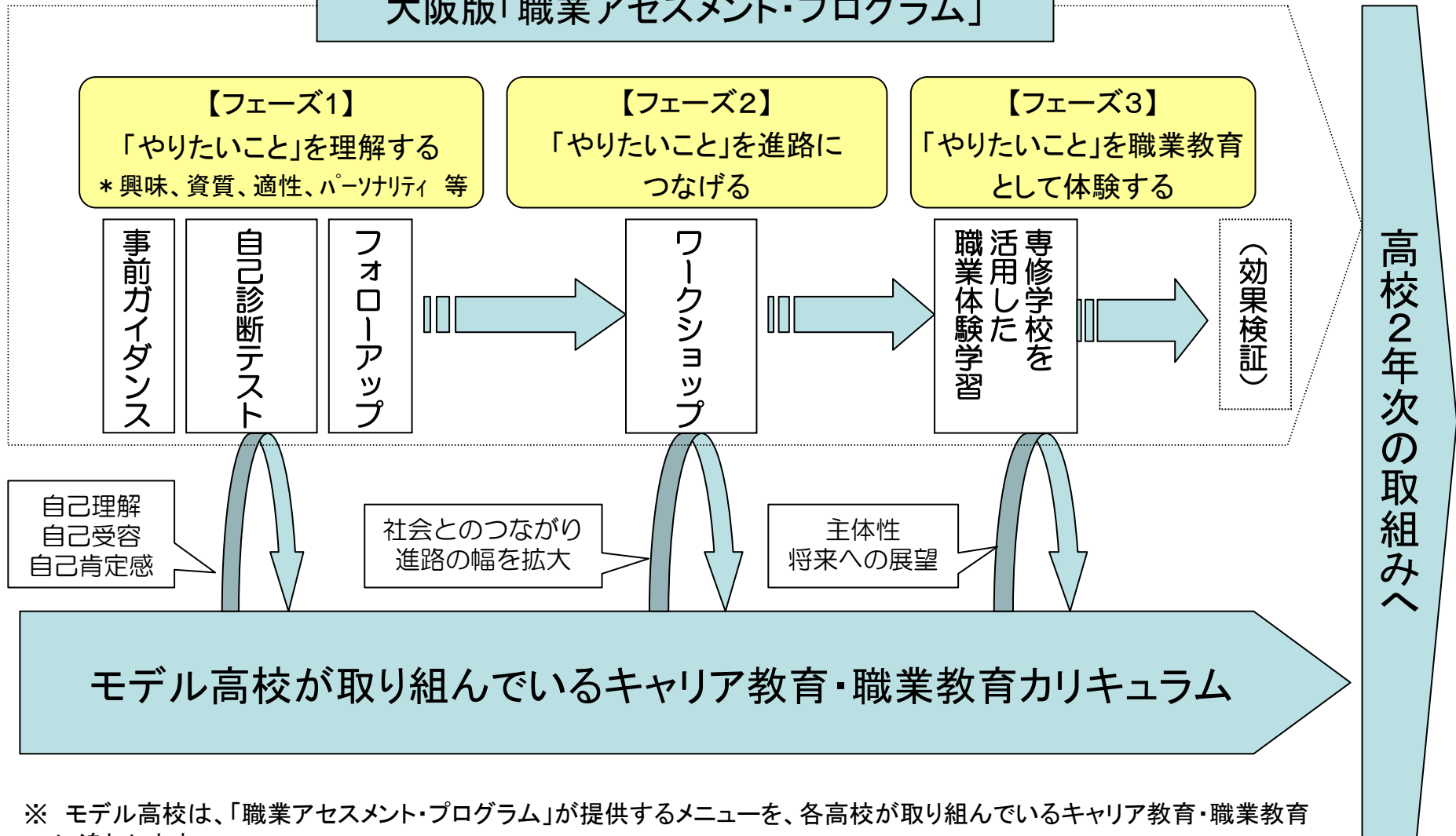


フェーズ3:職業教育を体験する

※写真はイメージ

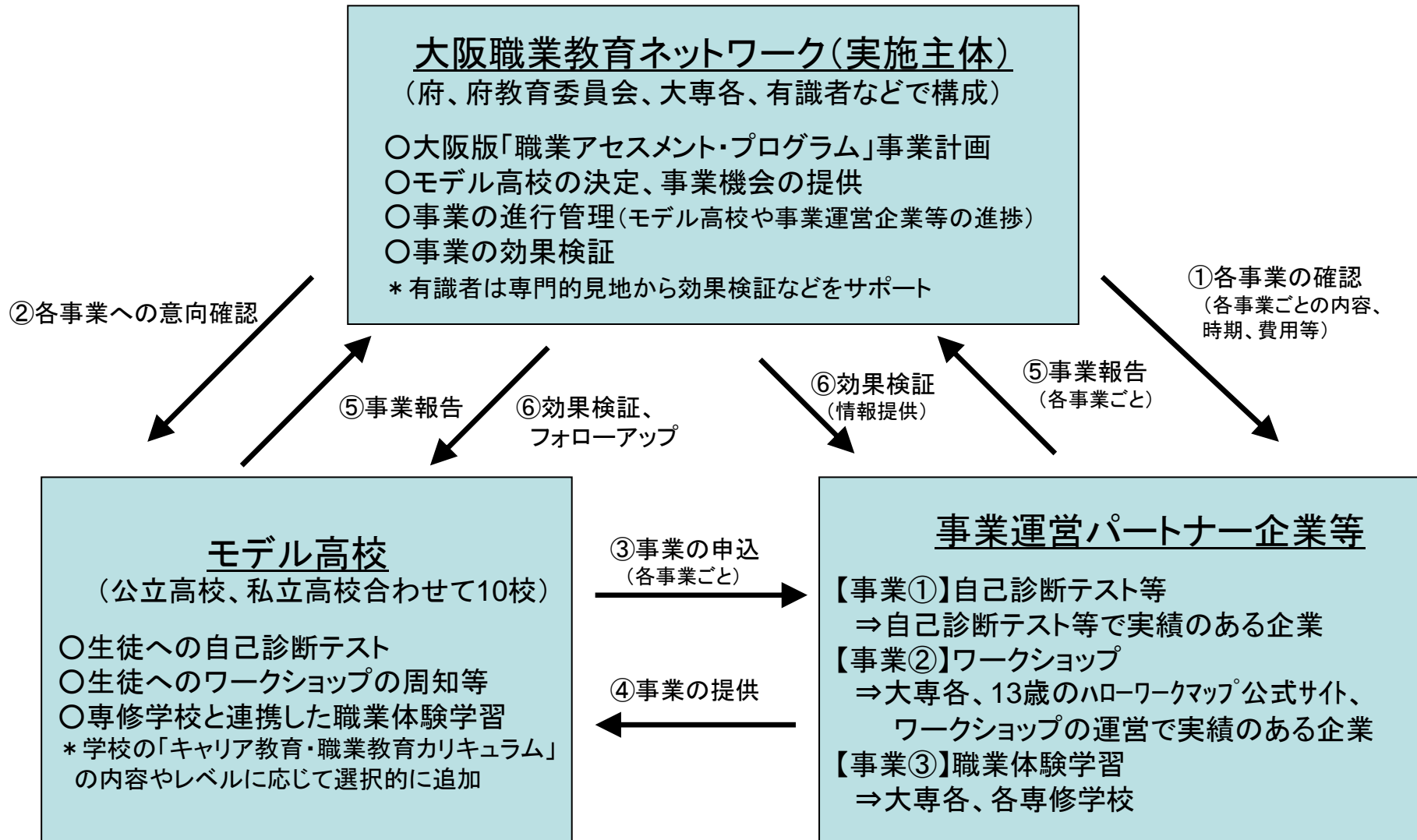
モデル高校での展開(例示)

大阪版「職業アセスメント・プログラム」



※ モデル高校は、「職業アセスメント・プログラム」が提供するメニューを、各高校が取り組んでいるキャリア教育・職業教育に追加します。

事業の実施体制



スケジュール案

(企画・準備・キックオフ)

3月～4月	○モデル高校の希望調査 ○「大阪職業教育ネットワーク」の設置 ①事業計画の策定、②アンケート調査の確定、②モデル高校の決定 ○キックオフ・ミーティング(モデル高校への説明会)	※事業目標の設定
-------	--	----------

(フェーズ1:自分を理解する)

4月～7月	○モデル高校へのガイダンス	※生徒へのアンケート調査(Ⅰ)
	○生徒への職業適性などの自己診断テスト ○自己診断結果のフォローアップ	

(フェーズ2:「多様な進路」を発見する)

8月1日	○ワークショップ(13才のハローワークマップ、職業人との交流など)	
------	-----------------------------------	--

(フェーズ3:職業教育を体験する)

9月～12月	○専修学校の職業教育体験	※生徒へのアンケート調査(Ⅱ)
--------	--------------	-----------------

(効果検証)

1月	○高校生との懇談会	
3月	○大阪職業教育ネットワーク	※効果検証